

**開創1200年を迎えた高野山を難波から盛り上げます**  
**難波駅を高野山開創1200年特別仕様で装飾します**  
**特設案内カウンターも設置**

南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市浪速区、社長：亙 信二）では、高野山開創1200年記念大法会が平成27年4月2日（木）から執り行われるのに先立ち、高野山への旅客誘致を目的として、3月1日（日）から5月21日（木）まで、難波駅を高野山開創1200年特別仕様で装飾します。また、大法会期間中に国内外からお越しになるお客さまに対して高野山へのアクセスや山内の情報を提供し、関連グッズを販売するため、3月20日（金）から5月31日（日）まで、特設案内カウンターを同駅に設置します。

詳細は以下のとおりです。

### 1. 難波駅の装飾について

#### (1) 実施期間

平成27年3月1日（日）～5月21日（木）

#### (2) 実施場所

難波駅 ※なんばギャラリー大階段、ホームほか駅全体で実施します。

#### (3) 特徴

- ◆高野山への旅の玄関口として、ターミナル・難波駅の大階段に聖地への結界をイメージした装飾を施します。
- ◆1200年継続してきた霊山の英気を体感いただくため、特別公開される秘仏をクローズアップしたフラッグや柱巻きでホームを装飾します。



大階段（イメージ）

高野山への玄関口となる「金の階段」が出現。  
開創1200年の高野山への旅立ちを  
優雅に演出します。



ホーム（イメージ）

「特急こうや 高野山開創1200年特別仕様」と連動し、  
赤・紫の2色のフラッグ・柱巻きを展開。  
駅の祝祭ムードを盛り上げます。

## 2. 難波駅特設案内カウンター設置について

(1) 設置期間

平成27年3月20日(金)～5月31日(日)

(2) 設置時間

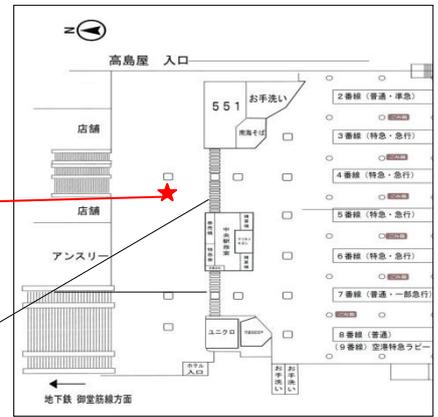
7:30～15:00

(3) 設置場所

難波駅3階北改札口前(高野線側)

(4) 内容

- ◆高野山へのアクセス、催事、山内案内などの情報提供
- ◆高野山開創1200年記念「ことりっぷ御朱印帳(ことりっぷ高野山付き)」などの発売



### 「ことりっぷ御朱印帳(ことりっぷ高野山付き)」について(ご参考)

南海電鉄が、株式会社昭文社が発行するガイドブック「ことりっぷ」とコラボレーションして3月1日(日)から発売する御朱印帳。御朱印を美しく残せる奉書紙を使用し、表紙には、高野山の壇上伽藍をイメージした鮮やかな朱色に、蓮の花をあしらいました。昭文社が編集したオリジナルガイドブック「ことりっぷ高野山」が付いています。



ことりっぷ御朱印帳

- 発売開始日 平成27年3月1日(日) ※一部先行発売あり
- 価格 1,800円(税込)
- 初回発行部数 5,000部

※難波駅特設案内カウンターのほか、同駅2階サービスセンター、橋本駅、高野山駅、こうや花鉄道「天空」列車内、きまぐれ鉄道ぶらりたびオンラインショップ、一部のアンスリー、高野山東京別院などでも販売します。

### 高野山開創1200年記念大法会

弘法大師空海によって816年に真言密教の道場として開かれた高野山は、平成27年に開創1200年を迎え、これを記念して4月2日(木)から5月21日(木)までの50日間、大法会が執り行われます。

南海電鉄では、これにあわせて高野山駅の改修や極楽橋駅的美装、イベントの開催など、当社および高野山の認知度向上や旅客誘致に向けた様々な取組みを実施しています。

### 特急こうや 高野山開創1200年特別仕様

南海電鉄では、高野山開創1200年記念大法会が執り行われるのに伴い、高野山への旅客誘致と鉄道の利用促進を目的として、平成27年3月1日(日)から平成28年2月まで、特別デザインを施した「特急こうや 高野山開創1200年特別仕様」を運行します。

車両外装は日本古来の蒔絵に倣ったデザインで、地色の異なる3つのバリエーションを展開、それぞれ「赤こうや」「黒こうや」「紫こうや」と名付け、高野山の四季をテーマにした絵柄をあしらいました。また、車内にもヘッドカバーや客室通路に特別デザインを施しています。 ※画像はすべてイメージです

◆赤こうや(30000系)



◆黒こうや(31000系)



◆紫こうや(30000系)



以 上